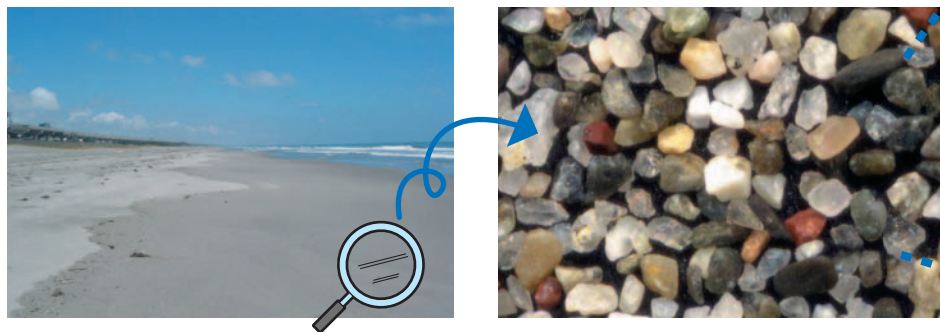


(2) 砂を見てみよう

砂を手にとってみると、白・赤・黒などの砂つぶが見えます。虫メガネで見ると形や透明感も見えてきます。

顕微鏡でもっと拡大すると、石英、長石などの鉱物や岩片（岩石のかげら）・貝がらがはっきり区別できます。砂浜は、このような鉱物、岩片・貝がらなどが集まってできています。



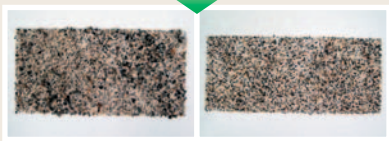
砂を集めよう



① ガムテープを10cm位に切り、かわいた砂におしつけます。

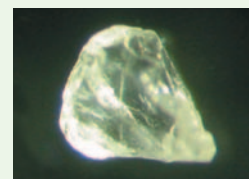


② うらがえしてみます。これで砂がくっついていたらできあがりです。



③ いろいろな場所で砂のコレクションを集めて比べてみよう。

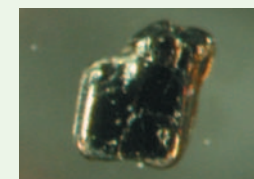
おもな^{こうぶつ}鉱物



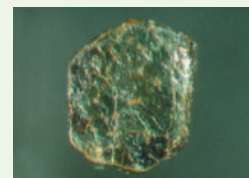
石英



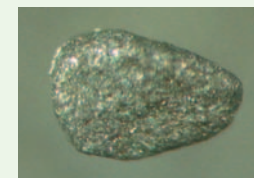
長石



きせき
輝石



くろうんも
黒雲母

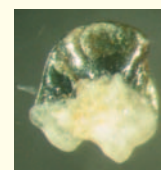


じてっこう
磁鉄鉱

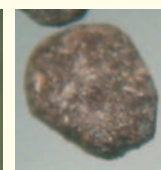


ガーネット

おもな^{がんぺん}岩片・貝がら片



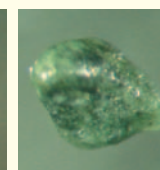
か
花こう岩



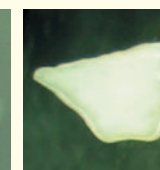
さがん
砂岩



チャート



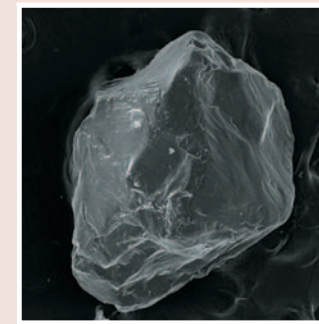
じゃもんがん
蛇紋岩



貝がら片

石英とは？

砂浜の砂には、石英のつぶがたくさん入っています。石英は岩石を形づくっているおもな鉱物で、色は白色や無色透明、ガラスよりもかたいです。つぶの形は、角ばったものから球状のものまであり、美しい六角柱状のものは特に「水晶」といいます。成分は、ほとんどが二酸化ケイ素 (SiO_2) です。



石英の電子顕微鏡写真